

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	2	健康・福祉
主要施策名	9	地域福祉
5年後の まちの姿	<p>○向こう三軒両隣の関係のように、お互いを気づかい支え合う、人にやさしいまちになっています。</p> <p>○住民主体の支え合い活動を通じて、各種の生活支援サービスを含んだ共助を担う組織が地域の中に生まれてきています。</p>	
施策展開の 基本的な考え方	<p>行政は、地域の支え合い活動等に対する支援と公的福祉サービスのきめ細かい運用の両輪により、広く困難を抱える市民を支える体制を構築します。</p> <p>市民等は、近所の様子を気にかかけ、困った人にはお互いさまの精神で支援を行う地域づくりに取り組みます。</p>	
実現に向けた 取組	<p>①地域における異変発見の体制づくり</p> <p>②住民による支え合い活動の推進</p> <p>③複合的な課題に対応する専門的な体制の強化</p> <p>④分野の壁を越えた情報交換や交流の促進</p>	
施策担当課	福祉介護課	
施策関係課・係	-	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	69,060	66,804	64,259		
事務事業数	6	6	6		
うち、事務事業評価対象	6	6	6		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
地域支え合いサポーター認定者数〔累計〕	人	57	57	57	57			68
多世代交流対応型サロンの数〔累計〕	か所	1	1	1	1			4
コミュニティソーシャルワーカー認定者数〔累計〕	人	17	17	17	17			17
旧小学校区等（15地区）ネットワーク会議開催地区数〔年間〕	地区	0	0	0	0			15
成果指標による 現状分析	<p>地域支え合いサポーター認定者数〔累計〕については、民生委員等から地域支え合いサポーターを認定し、市の事業や福祉施設等でのボランティア活動を行っているが、関係者との協議の場等のサポーター候補者を発掘する機会を設けることが出来なかった。今後は地域やボランティア団体と連携しながら人材発掘に努めていく。</p> <p>多世代交流対応型サロンの数〔累計〕については、令和2年4月から特定非営利活動法人ミンナのチカラに委託し、法人が所有する施設内に多世代交流施設を開設しているが、これ以降サロン運営を託せる団体等を見いだせず開設が進んでいない状況であるため、少しでも増やせるよう関係者への周知等に取り組んでいく。</p>							

	<p>コミュニティソーシャルワーカー認定者数〔累計〕については、施設職員を中心にコミュニティソーシャルワーカーを認定し、活動をお願いしている。</p> <p>旧小学校区等（15 地区）ネットワーク会議開催地区数〔年間〕については、開催できていない状況であるが、地域課題に対して、地域ケア会議等の場で関係者が定期的に情報交換を行い、ネットワークを通じて連携を図っている。</p>
--	--

### 3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	◇自治会等による地域の支え合い体制づくりでの補助申請が停滞気味であり、連携した取り組みを推進していく必要がある。また、多世代対応型サロンの開設についても、子どもの居場所づくりとも連携を図りながら、開設数を増やす取組が必要である。

### 4 取組の状況と今後の方向性

#### ① 地域における異変発見の体制づくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の異変発見の役割を担う人となる地域支え合いサポーターの養成や、地域支え合いサポーターと協力した住民による地域の見守り・サロン活動の支援を行います。</li> <li>・地域支え合いサポーターと民生委員、自治会・集落、老人クラブ、その他の自主グループ等の地域の主要な人材の関係づくりを支援します。</li> <li>・家庭を訪問する機会が多い新聞・郵便・宅配・ごみ収集等の事業者や電気、水道、ガス等のライフライン事業者、商店、コンビニ、スーパー、銀行等と、高齢者等の異変を早期に発見できるよう協力関係を築きます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<p>◇民生委員等の中から地域支え合いサポーターを認定し、地域の異変発見に向けた役割を担っていただいている。民生委員等による訪問活動の実施により、高齢者の異変の早期発見や緊急時の迅速な対応に繋がっている。地域のサロン活動が、地域の関係づくりに寄与している。</p> <p>◇地域支え合いサポーターは、気づいたことや情報を民生委員や自治会、コミュニティソーシャルワーカー、社会福祉協議会、地域包括支援センターへ報告し、趣味などを活かして地域での活動に協力している。</p> <p>◇新聞、郵便、電気、水道、ガス事業者等から新聞が溜まっているなど、高齢者世帯の異変を市や警察、消防、区長や民生委員に連絡してもらい協力を受けている。</p> <p>高齢者配食サービス事業の配達時にも同様の協力を受けている。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇引き続き、地域支え合いサポーターの養成や、民生委員活動の支援に努める。</p> <p>◇地域住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して引き続き支援を行う。</p> <p>◇今後も協力関係を継続し、高齢者世帯等の異変の早期発見に努める。</p>

#### ② 住民による支え合い活動の推進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・集落等による地域の支え合いの体制づくりへの支援を継続するとともに、こうした団体と連携・協働して、空き家等を利用した子どもや高齢者の居場所づくりや、地域の福祉活動の拠点の立ち上げを推進します。</li> <li>・買物や移動の支援、食事の提供といった地域の課題に対応する組織等の立ち上げを支援します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<p>◇救命ホルダー「胎内たすく」や救急医療情報キットの配付、要援護者情報の自治会等への提供、地域支え合い体制づくり事業補助金の自治会への交付により、支え合い体制づくりを継続的に支援している。</p> <p>ボランティアスタンプ事業は、社会福祉協議会が設置する実行委員会に補助金を交付している。地域支え合い体制に取り組む自治会がボランティアスタンプ事業を利用し地域課題に取り組んだ。多世代交流対応型サロンを開設したことにより、地域の関係づくりの支援を行った。</p> <p>◇配食サービスの提供（ケアマネジャー等の専門職がアセスメントを行い、必要な配食数を決定している。） 利用者負担金 350円～550円（課税状況により決定）</p>

<p>配食サービスの配達には市民ボランティア（健伸びサポート隊）が実施している。</p> <p>地域支え合い体制づくり事業補助金の交付により、支え合い体制づくりの継続的な支援を行っている。</p>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<p>◇地域支え合い体制づくり補助事業において、新たな団体を見いだせず停滞状況にあるが、地域住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して引き続き支援するとともに周知に努める。</p> <p>住民による地域づくりのため、多世代で交流できるサロンの運営継続と立ち上げを支援する。</p> <p>ボランティアスタンプ事業は、地域支え合い活動の推進にも寄与していることから今後も継続する。</p> <p>◇配食サービス事業は令和4年度途中から、他市同様の専門業者を導入して1食当たりのコストを縮減したが、物価高騰により委託料や利用者負担金の見直しが必要となる。</p> <p>地域支え合い体制づくり補助事業において、地域住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して支援を行う。</p>

③ 複合的な課題に対応する専門的な体制の強化

<p>施策の内容</p>
<p>・地域ケア会議等の協議の場において、行政機関や地域住民、福祉事業者等の関係者のネットワークづくりと定期的な情報交換を行います。</p>
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<p>◇地域ケア会議等において、民生委員や社会福祉協議会、福祉事業者等の関係者と定期的な情報交換を行い、連携を図っている。福祉まるごと相談窓口等において住民からの相談を受け、複合的な課題に対する支援体制に努めている。市が実施する研修を受講した福祉系専門職をコミュニティソーシャルワーカーとして認定し、要援護者が抱える課題解決に向けた支援を依頼している。</p>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<p>◇今後も引き続き、定期的な情報交換を行い、ネットワークによる連携を図るとともに、複合的な課題に対する支援体制の強化に努める。</p>

④ 分野の壁を越えた情報交換や交流の促進

<p>施策の内容</p>
<p>・支援制度やイベント等の開催の周知を行う際には、分野の壁を越えて役に立つ情報を手に入れられるよう健康・福祉・まちづくり等の様々な分野の情報を集約して提供します。</p> <p>・ほかの地域の活動団体や関連する分野の活動団体と情報交換ができるような交流の場づくりに取り組みます。</p>
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<p>◇市報やホームページ等に支援制度や各種イベントを掲載し、市民への周知を図っている。</p> <p>◇地域サロン等へ民生委員が参加し、その活動について民生児童委員協議会等で情報交換を行っている。</p>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<p>◇今後も様々な分野の情報を集約し、情報提供を進めていく。</p> <p>◇今後も積極的に地域サロン活動等を行っている団体と連携し、地域の情報について共有していく。</p>

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>◇少子高齢化や核家族化が進み、更には個人の価値観の多様化や生活形態等の変化により、家庭や地域でお互いに支え合う営みが弱くなり、共に支え合い、助け合う社会的なつながりも希薄になってきている。さらに、高齢の親と無職で独身や障がいのある50代の子が同居することによって起きる問題（8050問題）、ひきこもり、ニート、虐待、ヤングケアラー、自殺や介護と育児が同時に直面するダブルケアの課題などが社会問題となっており、胎内市でも8050問題やひきこもり、虐待の増加が懸念される。</p> <p>高齢者や障がい者など誰もが住み慣れた地域で安心、快適に暮らし続けられるよう『楽しくふれあい、認めあい、助けあうまち たいない』という胎内市地域福祉計画の基本理念の実現に向け、地域の支え合い体制づくりを推進する。</p>

## II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
230210	地域支え合い体制づくり事業	1,817	3,070	△	②	福祉介護課
230211	高齢者配食サービス事業	4,811	5,717	○	③	福祉介護課
230214	ボランティアスタンプ事業	311	653	△	②	福祉介護課
230215	シルバーステイ事業	0	100	×	③	福祉介護課
230310	胎内市地域福祉計画推進事業	131	182	◎	③	福祉介護課
239910	社会福祉補助金交付事業	57,188	62,688	◎	③	福祉介護課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	230210		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者		
事務事業名	地域支え合い体制づくり事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	23	地域福祉		予算科目 款 項 目	
主要施策	9	地域福祉			02	住民による支え合い活動の推進			03 民生費
					10	地域支え合い体制づくり事業			01 社会福祉費 03 老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意						
関連例規				関連計画	胎内市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	高齢者や障がい者もともに安心して住み慣れた地域で生活していくことが可能となるよう、地域での支え合い体制づくりを推進することを目的とする。
主な実施内容	・民生委員等の訪問調査による救命ホルダーや救急医療キットの配布 ・地域支え合い活動の立ち上げ支援及び居場所の立ち上げ、運営
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	×	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、新たに支え合い体制づくりに取り組む団体を確保できなかったことが要因である。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	2,470	1,768	1,817	3,070	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数
	目標	7団体	5団体	5団体	5団体	5団体
	実績	7団体	0団体	0団体		
成果指標	名称	事業実施団体数	事業実施団体数	事業実施団体数	事業実施団体数	事業実施団体数
	目標	7団体	5団体	70団体	70団体	70団体
	実績	6団体	0団体	53団体		
	目標比	85.7%	0%	75.7%		

6 事業の課題

支え合い活動を行う団体を増やすこと、事業を周知していくことが課題である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	②	②		
課題解決に向けた今後の取組					
総合政策課の胎内市合併振興基金活用事業補助金（コミュニティ支え合い型）とも整合を図りながら、支え合い活動を行う団体が使用できる補助金への変更を検討していく。					

8 二次評価委員会所見

改善等事業計画を作成し、効果的に事業推進を行うこと。

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	230211		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者		
事務事業名	高齢者配食サービス事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	23	地域福祉	予算科目	03	民生費
主要施策	9	地域福祉			02	住民による支え合い活動の推進		01	社会福祉費
					11	高齢者配食サービス事業		03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令				
	法令による義務付け		任意						
関連例規				関連計画	胎内市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	栄養バランスのとれた自立した食生活を維持していくことが困難と認められる高齢者に対し、疾病や転倒骨折の要因となる低栄養状態を改善し、健全な食生活を維持していくために必要な食事を摂取できるように、個々の状態に応じて毎週の配食回数を定め食事（弁当）を提供する。
主な実施内容	・配食サービス
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が△以下の場合に記載					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	4,644	4,765	4,811	5,717	
単位コスト	算出方法				
	委託費（一般財源）÷利用人数=1名当りの支出額				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	61,333円	68,578円	78,260円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	年間利用人数	年間利用人数	年間利用人数	年間利用人数
	目標	60人	60人	60人	60人
	実績	42人	40人	37人	
成果指標	名称	在宅生活継続率	在宅生活継続率	年間配食数	年間配食数
	目標	90%	90%	5,400食	5,400食
	実績	67%	64%	4,758食	
	目標比	74.4%	71.1%	88.11%	

6 事業の課題

物価高騰の影響により委託単価の上昇が見込まれる。
--------------------------

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組  
配食サービスの提供を受けている高齢者は低所得者であり、個人負担金の大幅な増額は不適當であり、今後コストの拡大が必要となる。

8 二次評価委員会所見

/					
---	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	230214		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者		
事務事業名	ボランティアスタンプ事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	23	地域福祉	予算科目	03	民生費
主要施策	9	地域福祉			02	住民による支え合い活動の推進		01	社会福祉費
					14	ボランティアスタンプ事業		01	社会福祉総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意						
関連例規				関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	ボランティア活動の活性化を図るとともに、生きがいづくりに資するように、市民ボランティアにスタンプカードを発行し、活動実績に応じて商品券（地域通貨）を交付する。
主な実施内容	・社会福祉協議会が設置する実行委員会に補助金を交付 ・商品券印刷
実施方法	補助・負担

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）		513	371	311	653	
単位コスト	算出方法	補助金交付額/ボランティア受入機関スタンプ押印数				
	実績	136円	115円	114円		

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数
	目標	780人	795人	957人	1,004人	1,054人
	実績	895人	917人	941人		
成果指標	名称	ボランティア受入機関スタンプ押印数	ボランティア受入機関スタンプ押印数	ボランティア受入機関スタンプ押印数	ボランティア受入機関スタンプ押印数	ボランティア受入機関スタンプ押印数
	目標	6,000個	6,000個	4,000個	4,100個	4,200個
	実績	2,626個	3,115個	2,736個		
	目標比	43.8%	51.9%	68.4%		

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△	△		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、福祉施設などでコロナ禍以降訪問ボランティアの受け入れが行われていないことや、各団体の活動も縮小していることが要因と考えられる。

6 事業の課題

コロナ禍前の水準までボランティア活動や受け入れが回復していない。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②	②		

課題解決に向けた今後の取組  
引き続き、ボランティア活動や受入れ状況の推移を見ながら事業の拡充に向けPRを行っていく。

8 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	230215		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者			
事務事業名	シルバーステイ事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	大	23	地域福祉	予算科目 款 項 目	03	民生費
主要施策	9	地域福祉			中	02	住民による支え合い活動の推進		01	社会福祉費
					小	15	シルバーステイ事業		03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○		根拠法令				
	法令による義務付け		任意							
関連例規	胎内市シルバーステイ事業実施要綱			関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	高齢者を介護している家族等（介護者）が一時的に介護することが困難となった場合に、被介護者を一時的に施設に宿泊させることで、介護者の負担を軽減するとともに、被介護者が適切な介護が受けられるようにする。
主な実施内容	要介護認定を受けていない見守りを必要とする高齢者の一時的な施設宿泊サービス
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、当事業を必要とする対象者がいなかったことが考えられるが、緊急避難的な福祉需要も想定されるため、事業体制は整えている。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	0	0	0	100	
単位コスト	算出方法 一般財源負担額／利用者数（R5年利用者0名）				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	0円	0円	0円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	サービス利用者数	サービス利用者数	サービス利用者数	サービス利用者数	サービス利用者数
	目標	3人	3人	3人	3人	2人
	実績	0人	0人	0人		
成果指標	名称	サービス利用日数	サービス利用日数	サービス利用日数	サービス利用日数	サービス利用日数
	目標	15日	15日	15日	15日	5日
	実績	0日	0日	0日		
	目標比	0%	0%	0%		

6 事業の課題

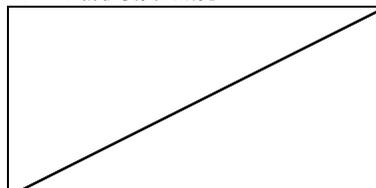
利用者数の状況から事業の必要性が課題である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組  
緊急避難的な利用に備え、事業継続とする。ケアマネージャー等の関係機関と連携を図り、必要とする方に利用いただけるよう取り扱っていく。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	230310		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者			
事務事業名	胎内市地域福祉計画推進事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	大	23	地域福祉	予算科目 款 項 目		
主要施策	9	地域福祉			中	03	複合的な課題に対応する専門的な体制の強化		03	民生費
					小	10	胎内市地域福祉計画推進事業		01	社会福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令	社会福祉法				
	法令による義務付け		努力義務+任意			胎内市地域福祉計画				
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域福祉計画を策定し、誰もが住み慣れた地域で安心、快適に暮らし続けられる地域づくりの実現を目指すための指針とする。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会</li> <li>・第3期地域福祉計画の年度評価</li> <li>・第4期地域福祉計画の策定</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	933	170	131	182	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	計画策定のためアンケート実施	計画の取組状況確認	計画の取組状況確認	計画の取組状況確認	計画の取組状況確認
	目標	1,000通	1回	1回	1回	1回
	実績	1,000通	1回	1回		
成果指標	名称	第4期地域福祉計画策定	年度評価実施	年度評価実施	年度評価実施	年度評価実施
	目標	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回		
	目標比	100%	100%	100%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
削減					
縮小					
維持					
拡大					
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	239910		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者			
事務事業名	社会福祉補助金交付事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	23	地域福祉	予算科目	03	民生費	
主要施策	9	地域福祉			99	その他		01	社会福祉費	
					10	社会福祉補助金交付事業		01	社会福祉総務費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○		根拠法令				
	法令による義務付け		任意							
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会福祉法人又は社会福祉団体が行う各種福祉事業のうち、市が推進する必要があると認める公益性の高い事業に対し補助金を交付することにより、福祉の充実を図る。
主な実施内容	・補助金の交付
実施方法	補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	60,500	59,730	57,188	62,688	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数
	目標	8団体	8団体	8団体	7団体	7団体
	実績	8団体	8団体	7団体		
成果指標	名称	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率
	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%		
	目標比	100%	100%	100%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					